(報道発表資料)







令和6年11月15日京都市環境政策局

担当:地球温暖化対策室 電話:075-222-4555

京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

京都モデル、アジアへ拡大!

独立行政法人国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業を通じた支援プロジェクト 成果報告会及びパネルディスカッション ~京エコロジーセンターからつなぐ脱炭素のバトン~の開催について

京都市では、地球規模での気候変動対策の進展に貢献するため、(公財)京都市環境保全活動推進協会と共に、「独立行政法人国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業」を通じた支援プロジェクトをマレーシア国ジョホールバル市で実施しています(令和3年10月~令和7年1月)。現地においては、本市施設「京エコロジーセンター」をモデルにした環境学習拠点を開設し(令和5年2月)、当該拠点を中心としたASEAN地域の人材育成プログラムの支援に取り組んできました。

この度、本プロジェクトで得られた経験を広く市民の皆様と共有し、今後の取組に活かすため、成果報告会とパネルディスカッションを開催します。

1 日時

令和6年12月15日(日)午後1時30分~4時30分

2 場所

キャンパスプラザ京都 第3講義室 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町939

3 当日プログラム

【第1部】成果報告会(午後1時30分~2時50分)

- ・プロジェクトの概要説明
- ・ジョホールバル市環境学習拠点における活動報告
- ・ASEAN地域における環境活動計画

【第2部】パネルディスカッション(午後3時~午後4時30分)

<テーマ>市民が主体の脱炭素社会を実現するために環境学習拠点が果たす役割とは?

4 出演予定者 (パネリスト及びコーディネーター)

- ・藤野純一 氏((公財) 地球環境戦略研究機関(IGES) 上席研究員)
- ・大西啓子 氏(認定NPO法人きょうとグリーンファンド理事・事務局長)
- ・豊福はるか 氏(関西学院大学総合政策学部国際政策学科4年)
- ・テンクー 氏(ジョホールバル市スルタンイスマイル図書館上級司書 エコセンター 専門職員)
- ・カミシャ 氏 (イスカンダル地域開発庁レジリエント環境部 部長)
- ・新川達郎 氏 ((公財) 京都市環境保全活動推進協会 理事長、京エコロジーセンター館長) ※海外からの出演者の発表は、英語→日本語の通訳が付きます。

5 参加対象

どなたでもお越しいただけます (無料・先着150名・事前申込み要)。

6 お申込み方法

右の二次元コードよりお申込みください。

URL: https://forms.gle/wRC8aVkyp8LLAvaf9

【申込〆切:令和6年12月14日(土)】



7 問合せ先

(公財) 京都市環境保全活動推進協会(担当:芝・髙橋)

https://www.miyako-eco.jp/contact/

8 主催等

主 催:(公財)京都市環境保全活動推進協会

共 催:京都市



ジョホールバル市内エコセンター職員の方々



展示の様子

<参 考>

1 JICAの草の根技術協力事業

日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した、途上国への協力活動を JICA が支援し、共同で実施する事業

< 京都市とジョホールバル市とのこれまでの主な交流経過>

期間	内容
平成25年10月~	イスカンダル開発地域における「マレーシア版こどもエコ ライフチャレンジ」の実施
平成28年2月 ~平成30年12月	JICA「草の根技術協力事業」を通じた「低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくりプロジェクト」の展開 ※ ジョホールバル市を含むイスカンダル開発地域・ジョホール州内でのプロジェクトの実施
令和3年10月 ~令和7年1月	JICA「草の根技術協力事業」を通じた「ASEANの モデルとなる低炭素社会実現に向けた人材育成とネットワ ーク拠点の機能強化プロジェクト」の実施

2 マレーシア・ジョホールバル市等の概要

(1) ジョホール州

人口 約410万人、面積 約2万k㎡。マレー半島の最南端に位置する。

(2) イスカンダル開発地域

人口 約208万人、面積 2, 300km²

2025年までに58%の温室効果ガス削減を目標(2005年比)に掲げ、環境保全と経済成長の両立を目指す経済特区

(3) ジョホールバル市

人口約171万人、面積約373k㎡。

ジョホール州の州都。観光、ハイテク産業、物流、貿易の拠点として、堅調な経済発展を遂げている。





<環境省ホームページより引用>